

キタエル 鍛カンパニー

主な製品・No.1

- ・熱間・冷間鍛造品
- ・機械加工品（エンジン部品、シャシー部品、ドライブトレイン部品など）
- ・単一の鍛造工場として国内生産量1位

お客様の期待を超えるため、お客様へ真に寄り添い、お客様の心のつぶやきを誰よりも素早くかつ正確に察知し、安全・品質を絶対とした世界No.1のトータルコストパフォーマンスをお届けします。そのために高い志と強い覚悟を持って変化を起こし続け、鍛鋼一貫に機械加工を加えた工程スルーの強みを最大限に活かし、「モノづくり力」をさらに進化させます。

代表取締役副社長
プレジデント

中村 元志



強み

- 「鍛鋼一貫」の体制を活かして磨き上げた、高い技術力による鋼種開発・鋼材製造・鍛造品製造
- 多様化する顧客ニーズに「トータルソリューション」で応える、鋼材から鍛造、加工までを一貫提供する総合力
- 自動車産業の集積地である中部地区に位置することによる、輸送時のCO₂排出の低減による環境優位性

機会

- 電動化インフラ未整備の地域や過酷な使用条件下では、内燃機関搭載車の強みが活かされるため、エンジン、トランスミッション部品の販売が一定量見込まれる
- グローバルサウスを中心とした、新興国の自動車部品市場拡大による海外事業の成長

リスク

- 電動車シフトによる鍛造品搭載車数の減少
- 国内市場縮小による販売数量の減少、競争環境の激化
- 完成車および自動車部品の輸入関税強化に伴う部品の現地調達化、国内生産縮小の加速

事業環境

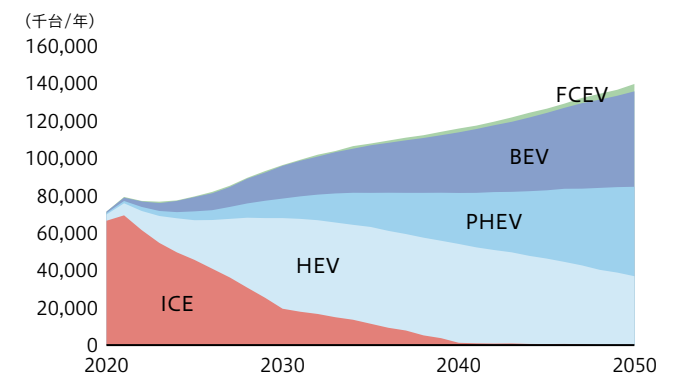
主要顧客である自動車産業においては、おおむね堅調な需要が継続していますが、自動車の機構変化による数量減少が見込まれ、各市場の変化にタイムリーに応える必要があります。

地域別には欧米では、各国政府の補助金削減などにより、BEV（バッテリー式電気自動車）の需要が減少し、実用性や利便性、経済性といった点からHEV（ハイブリッド車）が再評価され、今後もBEVとHEV / PHEV（プラグインハイブリッド車）が併存する見通しです。しかし、電動化と自動運転技術の進展は世界のトレンドであり、特に中国メーカーは技術力・販売ともに、存在感を強めています。当社は、必要とされる鍛造品をタイムリーかつ良品廉価に提供し、お客様のお役に立ち続けることで、変化する市場環境に対応します。

社会にもたらす価値

「走る・曲がる・止まる」という自動車の基本性能を支えるため、鋼材、鍛造、加工の一貫した高効率な製造プロセスで品質・コスト・納期に優れた鍛造品を提供し、モビリティ社会へ貢献します。また、電動車の普及で需要の高まるe-Axle部品などをはじめとした、自動車のマルチパスウェイに対応した製品を提供することで自動車の脱炭素化にも貢献しています。

世界新車販売構成（乗用車）



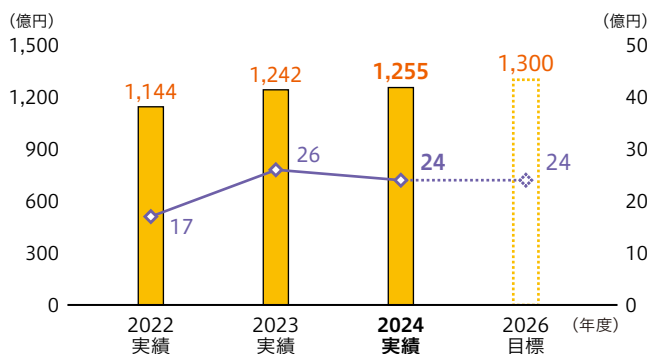
出典：JAMA 2050年カーボンニュートラルシナリオ CNFシナリオ版

2024年度の実績

量変動対応力の強化として、「買い、つくり、売り」の改革による収益改善に取り組んでいます。特に「つくり」においては、生産性向上を目指した、老朽設備の寄せ止めや良品条件の明確化を実施しました。販売数量の減少はあったものの、販売価格の値上げもあり、鍛カンパニー全体で前年比増収となりました。

● 売上収益/営業利益

■ 売上収益 ■ 営業利益



中期経営計画アップデートと今後の取り組み

ー ワンストップサプライヤー

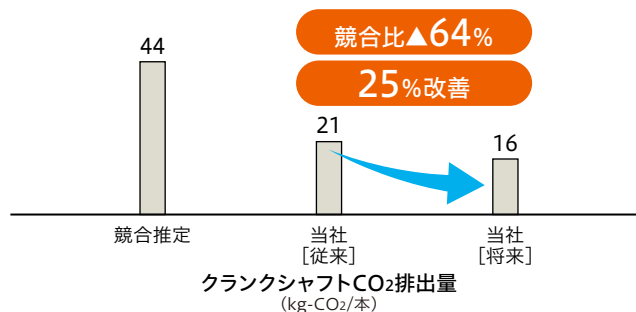
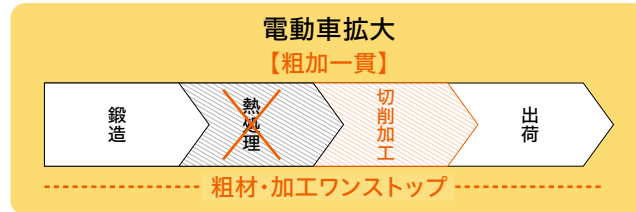
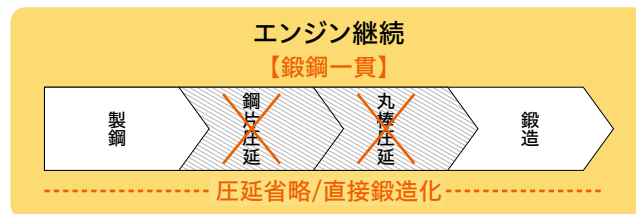
当社が粗材から加工までを一貫して手掛けることで、お客様がそれぞれのサプライヤーを探す手間を省き、工程スルーでの「ワンストップ調達」を可能としています。この技術は、次世代e-Axle向け部品の生産にも対応しており、電動車拡大に貢献しています。

ー グリーン鍛造

鍛鋼一貫の強みである材料開発力を最大限活かしたグリーン鍛造へと進化し、工程省略と工程集約でCO₂削減を実現、さらに『コスト競争力向上』を組み合わせた当社ならではの新たな価値を創造していきます。

● グリーン鍛造品の仕組み

材料開発	
高強度用鋼	小型化を実現
低歪用鋼	静粛性を実現
熱処理省略鋼	省CO ₂ を実現



ー 海外事業の拡大

バルドマン スペシャルスチール社の鋼材活用に加え、鍛造事業でのインド進出を検討し、成長市場であるグローバルサウスにおける事業を拡大します。

TOPICS

トヨタグループ北米唯一の鍛造サプライヤーであるアイチ フォージ ユーエスエイ (以下AFU) で、鍛造コンロッド2号機がラインオフ

米国子会社であるAFUでは、2022年7月に鍛造コンロッド1号機を、2024年12月には2号機を稼働開始しました。ブラジルトヨタからの設備移管を通じて、グループアセットを有効活用しながら、北米の需要地近接での生産体制を強化しました。生産されたコンロッドはトヨタ北米拠点に供給され、エンジンのダウンサイジングと高強度化を実現しています。また、実需に近い地域での供給により、輸送時のCO₂排出の低減にも貢献しています。これからも、「もっといいクルマづくり」に貢献するとともに、「エンジン部品の安定供給」というAFUの使命を果たし、自動車産業の未来を支えています。



鍛造コンロッドライン稼働の様子